

平成30年度 第1回佐賀市エコプラザ運営委員会 議事概要

【開催日時】平成30年8月23日（木） 13時30分～16時30分

【開催場所】佐賀市エコプラザ 2階大会議室

【委員】（敬称略）

浦田弘、大渡啓介（委員長）、門脇恵、川副恵美子、古賀恵美、古賀香光、柴本豊彦、西村徹（副委員長）、西村洋子、本村奏恵（欠席）

【事務局】喜多環境部長、成富環境副部長、副島環境政策課副課長兼温暖化対策室長、馬場環境政策課自然環境係長、渡島循環型社会推進課長、光石循環型社会推進課副課長兼総務係長、羽立循環型社会推進課3R推進係長、森永主査、末次主事、徳永氏

【エコプラザ委託業者：特定非営利活動法人さが環境推進センター】石原理事

【傍聴者】なし

【議事内容】

議題1 会議の公開について

○事務局

※資料のとおり説明

○委員長

1期目の時も、公開はされていたんでしょうか？

○事務局

はい。公開をして、毎回議事録の方を作成してホームページ上にアップしております。

○委員

フェイスブックやブログなどにその内容を公表することは良いでしょうか？

○事務局

この会議自体公開しており、傍聴席を設けております。傍聴の希望があれば同じ資料をお渡しして傍聴できるようになっておりますので特に支障はないですが、個人情報に関わる部分に注意して頂ければと思います。

議題2 年間スケジュールについて

○事務局

※資料のとおり説明

○委員

このスケジュールの中に、8月頃に協議事項がある場合は開催しますと書いてあります。この運営委員会はまず実績報告をして、それについて意見を言い、その次に翌年度の計画について意見を言う。協議事項がある場合というのはどういうことを想定しているのです

か。やっぱりこういう会議に出るには、私は専門知識を持ち合わせていないので勉強して来たいと思いますので、ある程度想定できることを教えて頂ければありがたいと思います。

○事務局

特に想定しているというわけではないですが、前回、年2回開催したのは、平成27年度でして、平成28年2月にエコプラザ自体改装してリニューアルオープンしました。そういう大きな変革がありましたので、そういった時には事業そのものの大きな見直し等もありましたので、8月頃に開催させて頂きまして、みなさまの意見を聞きながらリニューアルオープン後どういった活用をするのかということの議題で協議をしたという経緯がございます。なので、大きな変更がある場合は、開催をして皆さんの意見を聞きながら運営をしていくのは必要と思いますが、特に順調で年間計画通り行っているということであれば年1回という形で考えております。ただ、みなさん自身、色んな分野から出られておまして、特に環境そのもの、ごみ問題に特に詳しいということでご参加頂いているわけではございません。それぞれに持ってらっしゃる知識、普段活動されていることの経験等を活かして、逆に私たちの気づかない部分の目線でみなさんの多岐に渡る意見を言ってもらえると、私たちも視野を広げて運営に活用できるのかなと思っておりますので、気軽に意見を言ってもらえればと思います。

議題3 佐賀市エコプラザの概要について

○事務局

※資料のとおり説明

○委員長

昨年度お話があった、基金について、結果を存知上げないので進捗等を教えて頂ければ。

○事務局

委員長が言われた基金ですが、ここの焼却炉の運営、それからここのプラントのメーカーの荏原環境プラントという会社がございしますが、その荏原環境プラントの方から、1千万円の寄付をNPO法人佐賀未来創造基金にされまして、その寄付をされた1千万円を基金として、それを活動資金にして、そのNPO法人佐賀未来創造基金が、活動資金を出すので色々な環境イベントや環境活動しませんかということで公募されました。その公募に13団体申し込みがあり、審査等を経まして、最終的に9団体が採用されたということで聞いています。その基金を基にした補助金を活用して、今年度色々な環境活動またはイベント等が企画されております。できれば、佐賀市としてはその採用された9団体全部に、エコプラザを活動拠点として何かして欲しかったのですが、色々な多岐に渡って環境活動されている団体が多かったので、その中で2団体ほど、何とかエコプラザを利用してイベントをしたいとおっしゃって頂いているので、近々そのイベントの開催も企画をされております。

○委員長

佐賀市がごみ減少に至っていないということで、原因がはっきりしていると思いますので、事業所の成功例をホームページにアップするという活動もありかなと思います。

○事務局

3R推進パートナーという制度がありまして、色々な事業で顕著な取り組みをされている事業者を登録し、ホームページ上で広報させていただいています。また、事業系ごみの6割は生ごみです。事業所の生ごみをどう減らせるかが大きなターゲットになっております。特に宴会等が出る食べ残しも多くございますので、佐賀市では3010運動ということで、最初の30分、最後の10分は席について一口でも多く食べてくださいねという活動をしてしておりますが、そういった活動をしながら、また食品ロスを減らす取り組みに協力頂ける店舗等を募集しまして、食品ロスゼロ推進店ということで登録し、広報させて頂くという制度がございます。各事業所で色々な取り組みをされておりますので、そういった情報発信をしていながら広めさせて頂けたらなと思っております。

○委員

ここエコプラザの近くに今度新しい施設が何かできるんですよね？

○事務局

施設といいますか、バイオマス産業都市関連の事業として清掃工場の北側の約21ヘクタールの土地の造成工事をしているところに、佐賀市清掃工場で作っているCO₂を使えるような藻類関係の工場を誘致するという関連の事業を進めているところです。

○委員

その話を伺っていて、すごくいい取り組みだと思っていたんですが、その一方で、その辺りの生物環境や水質環境がすごく良い環境だったと伺っていて、その環境施策の基本方針の中にもそういうのを推し進めていくのと同時に、今あるものを保全していく、確保していくということも組み込まれていて。どうしてもしょうがないこともあると思うんですが、矛盾もあるのかなと思ひまして、そのあたりどのようにお考えですか。

○委員長

前回の委員さんからもそういう話がありました。もう整備されてしまっている状況でありましたので、このことに関しては残念ではありますが、取り返しがつかないということで、佐賀市さんにも、そういったことが続かないようにとお願いをしたんですが、保全という点ではおそらくやって頂けるかと思ひています。ただ、やっぱり佐賀市をより良くしようとした場合、折り合いをどこかでということはもしかしたらまたあるかもしれません。

○事務局

現在、清掃工場北側に21ヘクタールと広く造成しておりますが、佐賀市が造成して、企業様にお売りする形になります。水路の工事などで希少な植物がある場合はきちんと移植して工事をいたしまして、佐賀市自然環境懇話会という専門の方がいらっしゃるその方達に意見を聞きながら、こういう移植の方法がいいよといったことを聞きながら進めさせて頂いております。

○委員

エコプラザの夏休みの利用、来館についてお尋ねします。夏休みに子どもと過ごしていて、とにかく暑いので涼しいところに行きたいという欲求がありまして、子どもを連れてくるに付随するのが、食べさせる、休ませる、飲ませるという場所が欲しいなというのがあって。特に水分とかジュースを飲ませたいし、軽くおやつとかも食べさせたいなど。このエコプラザ内に親子で利用できる場所があるのでしょうか。

○事務局

基本的に飲食スペースは設けていませんが、実際の利用、運用の仕方として、そういうご相談はあっておりますので、臨機応変に、運用の工夫で対応させて頂いております。

○委員

もう一步進んで、食べるものの施設が入るのは厳しいですか。

○事務局

今のところ予算的な面や改装しなければいけませんので、簡単にはいかないと思います。が、飲食のお店まで入るといのは中々ハードルが高いんですが、持ち込んで頂いてフリースペースで活用頂くというのは、今後検討はできるのかもしれませんが、そのあたりも含めて今後も意見を頂きながら参考にさせて頂きたいと思います。

○委員

バイオディーゼル燃料について、廃食用油は約12万ℓ回収しており6万ℓ精製しているのであれば、残りの6万ℓはどうなっているのですか。

○事務局

油の質のいいものは精製して、質の良くない黒い油は企業が買い取り、ボイラーの燃料にしています。

○委員長

リサイクル工場の手選別の動画をホームページで公開されないのですか。

○エコプラザ委託業者

ユーチューブ上に公開されている動画はあります。リサイクル工場はいつも動いているわけではないので、子どもたちの施設見学の時に工場が動いていない時はビデオを見せております。

○委員

最終処分場で埋立てした後の土地利用は？

○エコプラザ委託業者

一般的には、公園とかになっております。

《議事終了》